

予 算 要 求 資 料

令和8年度当初予算

支出科目 款：総務費 項：防災費 目：防災総務費

事業名【新】防災業務DX化促進事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

危機管理部 防災課 地域支援係 電話番号：058-272-1111(内2842)

E-mail：c11115@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 700千円 (前年度予算額：0千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	700	0	0	0	0	0	0	0	700
決定額	700	0	0	0	0	0	0	0	700

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

令和6年能登半島地震では、罹災証明書の発行やそのために必要となる住家被害調査や被災者台帳の整理などに、デジタル技術が活用され、職員の事務負担が大幅に軽減され、被災者への早期対応が実現した。

また、デジタル庁が令和6年度に行った実証実験では避難所受付業務等の効率化が示された。

これらのことから、来るべき大規模災害に備え、各市町村の防災業務についてデジタル技術の導入を進めていく必要があるが、システムの有効性に関する理解不足等により、DX化が進んでいない状況にある。

このため、DX化の必要性や有効性について理解促進が必要不可欠となっている。

(2) 事業内容

- ・市町村と連携して住民参加のもとデジタル技術を活用した避難所受付体験会を実施する。
- ・避難所受付体験では、従前の紙を活用した受付と避難所受付アプリを活用した受付を実施し、それぞれの時間を計測し、デジタル技術の便利さを住民に直接体験いただくとともに、市町村の管理職に視察いただきその有用性について理解を深めていただく。
- ・各圏域1カ所ずつ、年2カ所で訓練を行い、3年で5圏域全てで開催する。

(3) 県負担・補助率の考え方

岐阜県が主催し、希望する市町村と連携して実施するため、県主体が妥当である。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
需用費	90	消耗品費、燃料費、会議費
役員費	10	通信運搬費
委託料	500	体験会運営費
使用料	100	会場借上費
合計	700	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・内閣府が策定する「国土強靱化基本計画」において「デジタル等新技術の活用による国土強靱化施策の高度化」と明記
- ・第3期岐阜県強靱化計画において「デジタル等新技術の活用による強靱化施策の高度化に向けた取組推進」と明記

(2) 国・他県の状況

愛知県：実施予定なし

静岡県：市町村等の訓練に県のアプリを使用した避難所受付訓練を令和6年度に実施

三重県：実施予定なし

(3) 後年度の財政負担

3箇年で全県域で実施予定

(4) 事業主体及びその妥当性

岐阜県が主催して市町村と連携して訓練を行うため、県主体が妥当である。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
市町村と連携してデジタル技術を活用した避難所受付体験会を開催し、県内市町村の防災業務のDX化の促進を図る。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R7)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R10)	達成率
①体験会実施圏 域数	0	/	/	2	5	/

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和 4 年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p> <p>指標① 目標： _____ 実績： _____ 達成率： _____ %</p>
令和 5 年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p> <p>指標① 目標： _____ 実績： _____ 達成率： _____ %</p>
令和 6 年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p> <p>指標① 目標： _____ 実績： _____ 達成率： _____ %</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

- ・ 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)
3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない

(評価)

- ・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)
3 : 期待以上の成果あり
2 : 期待どおりの成果あり
1 : 期待どおりの成果が得られていない
0 : ほとんど成果が得られていない

(評価)

- ・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか)
2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている

(評価)

(今後の課題)

- ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項
市町村の財政状況により防災業務のDX化が遅れることが懸念される。

(次年度の方向性)

- ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか
被災者支援システム等の県内での導入状況に応じ継続を検討していく。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント
又は事業名及び所管課
組み合わせる理由
や期待する効果 など

【〇〇課】